

# 地域と連携した エゾシカ被害対策の推進

## 地域課題の解決に向けた取組 根釧東部森林管理署



当署は北海道の最東端に位置する森林管理署であり、知床半島南西側から根室半島までの10万6千ヘクタールの国有林を管理しており、管内は広大な根釧台地に牧草地帯が広がっています。

当署管内の国有林は、直接これらの牧草地帯と接しているところが多いということもあり、特に

森林と農地を行き来しながら被害を及ぼすエゾシカについて、農林共通の地域の課題として、当署としても関係機関との連携を図りつつ、積極的な対応をしてきているところです。

具体的には、当署管内でもエゾシカが多数生息している根室市において、関係行政機関である北海

道根室振興局及び根室市のほか、地元農協や猟友会、さらには地域に生息する希少猛禽類であるシマフクロウの専門家等にも参画いただいて「根室市国有林内エゾシカ対策協議会」を主催、開催するなかで、地域内の連携による効率的かつ効果的なエゾシカ対策の推進を図っています。



根室市国有林内  
エゾシカ対策協議会

エゾシカ対策の推進に当たっては、シマフクロウの繁殖等に影響を及ぼ

さないようにすることも必要であることから、協議会において、駆除を担う猟友会等とシマフクロウの専門家で、狩猟が可能な場所や時期について議論していただいています。

また、猟友会等が行うものとは別に当署が委託により行っているエゾシカの捕獲事業等についても、効果が期待できる捕獲箇所等について、関係者の意見をいただいています。



エゾシカの群れ

当署が行う捕獲事業は、冬季にエゾシカが集まる場所において罠いワナを設置し生体捕獲を行うもので、27年度の捕獲実績は104頭でした。

捕獲したエゾシカは、ジビエ料理用として関東、関西方面に出荷され、有効活用されています。

罠いワナによる捕獲は、受託業者の意見も聞いて、罠の改良を行っており、一定の成果を上げていますが、夜間に活動することが多いエゾシカを、効率よく捕獲するために、夜間の捕獲ができる手法を検討するなど更なる改良が必要な状況です。

また、今後の課題としては、銃猟による駆除では、エゾシカが国有林の銃猟禁止区域に逃げ込む

ことにより捕獲効率が低下するため、シマフクロウ等に影響を与えない範囲で、その生息地においてもエゾシカの捕獲ができないかといったことがあげられています。



罠いワナによる捕獲

「根室市国有林内エゾシカ対策協議会」での議論を通じて、こうした課題に対し、関係者間で合意可能なより良い解決策を見いだしていければと考えています。